

ASELE No. 32

Friday, December 16, 2022

The Aomori Society of English Language Education Newsletter

青森県英語教育学会通信第 32 号 令和 4 年 12 月 16 日

青森県英語教育学会研究大会開催

青森県における英語教育の普及と発展のため、青森県英語教育学会では下記の通り、研究大会を開催いたします。会員のみならずもちろん、県内の英語教育に関心を持っている方なら誰でも参加いただけます。また、対面とオンラインのハイブリッド開催ですので、ご自宅からでも参加することが可能となっております。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

また、研究発表の発表者を募集いたします。日ごろの研究について、参加者で共有し議論を深めてみませんか。発表を希望される方は、令和 5 年 1 月 20 日（金）までに事務局あて（telesaomori@gmail.com）にメールでご連絡ください。

日時

3 月 4 日（土）13：40～17：00

会場

弘前大学教育学部中教室

会費

無料

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13：40 | 総会 |
| 14：00 | 開会、会長から |
| 14：05～14：30 | 研究発表 1 |
| 14：30～14：55 | 研究発表 2 |
| 15：00～15：50 | 講話 青森県教育庁東青教育事務所 指導主事 佐々木紀人 氏
「スローラーナーの指導」 |
| 15：55～16：55 | 講演 秋田県立秋田南高等部 教諭 吉澤孝幸 氏（テーマ未定） |
| 16：55 | 謝辞、閉会 |

参加申し込み

対面・オンライン場合も右のQRコードから申し込みフォームにアクセスしてお申し込みください。



ASELE ニュースレター電子化のお願い

これまで何度かニュースレター内でお願ひしてきましたが、ASELEのニュースレターは次回号から、事務局の作業負担の軽減と経費節約のため、ご登録いただいたメールアドレスにPDFで送信することにしたと思います。それに関しまして、会員のみなさまには以下のことをお願ひします。

- (1) 現在登録しているメールアドレスに変更がある場合は12月23日(金)までに事務局あて(teleasaomori@gmail.com)にメールでご連絡ください。登録しているメールアドレスが分からない場合も、連絡をいただければそのメールアドレスを新たに登録いたします。
- (2) 12月26日(月)に、このニュースレターのPDFファイルを電子メールで送信します。12月28日(水)になっても届かない場合は、事務局あてにメールでご連絡ください。

師走のお忙しいところ恐れ入りますが、ご協力の方よろしくお願ひします。

来年度の東北英語教育学会研究大会は福島で

来年度の年次研究大会は福島支部が担当支部となっております。シンポジウムテーマや特別講演等については、これから随時公表されることとなりますが、ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

青森支部は自由研究発表の発表者及び司会者、シンポジウムのパネリストを担当します。福島支部から具体的な日程等について連絡が来ましたら改めてメールでお知らせいたします。発表の希望等ございましたら、事務局あて(teleasaomori@gmail.com)にメールでご連絡ください。**東北英語教育学会 第41回福島研究大会**

【期 日】 2023年(令和5年)6月25日(日)

【会 場】 コラッセふくしま(予定)

【日 程】

6月24日 理事会

6月25日 研究大会

午前 研究発表

・校種指定：宮城・福島・山形(司会:山形・岩手)

・自由研究発表：青森・岩手・秋田(司会:青森・秋田)

昼 総会

午後

・シンポジウム(パネリスト：青森・岩手・宮城，司会：宮城・福島)

・特別講演(内容未定)

なお、大会情報につきましては、以下の全国英語教育学会ウェブサイトでもご確認いただけます。

<https://sites.google.com/site/tohokueigo/>

令和5年度全国英語教育学会 第48回香川研究大会

来年度の全国英語教育学会研究大会は四国地区英語教育学会の主管により対面で開催予定です。全国会員の方には、来年5月上旬に大会要項が大会事務局から送付される予定です。

【日程】2023年(令和5年)8月19日(土)・20日(日)
【会場】香川大学教育学部 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 <https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/>

なお、大会情報につきましては、以下の全国英語教育学会ウェブサイトでもご確認いただけます。

<http://www.jasele.jp/>

東北英語教育学会研究紀要第43号論文募集

—投稿希望者は1月16日(月)までに県支部編集事務局に連絡を—

東北英語教育学会では、研究紀要第43号(令和5年3月発行予定)掲載論文を募集しております。掲載論文は各県3編までで、未発表の研究論文及び実践報告が対象となります。論文投稿にあたっては、必ず、東北英語教育学会のホームページ <https://sites.google.com/site/tohokueigo/> に掲載の投稿規定等をご確認ください。投稿希望がございましたら、令和5年1月16日(月)までに、研究主題及び概要(和文400字程度)を添えて、下記県支部編集事務局(teleaomori@gmail.com)までご連絡ください。投稿希望者には投稿必要書類等を送付いたします。編集準備作業の都合上、投稿申込み締め切り以降の受付は応じかねますのでご注意ください。原稿締め切りは令和5年2月13日(月)で、原稿提出先は同じく県支部編集事務局となります。原稿につきましても、締め切りを過ぎたものは受理しかねますので、提出にあたっては、くれぐれも締め切りを厳守いただくようお願いいたします。なお、投稿論文の採否については、東北英語教育学会研究紀要投稿規定に従い、県支部査読委員による査読審査の上、決定させていただくことをあらかじめ御了承下さい。

【研究紀要青森支部編集事務局】 弘前大学教育学部 佐藤剛研究室
〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学教育学部
TEL : 0172-39-3448 E-mail : teleaomori@gmail.com

小学校英語教育学会(JES)会員募集

小学校英語教育学会(JES)は小学校における英語教育の理論と実践を研究し、毎年夏に開催される全国大会をはじめ、地区ごとのセミナーなどの活動を行っている学会です。

丹藤永也が県の理事と授業改善支援委員会の委員長、佐藤剛がその委員を務めております。小学校で教科としての英語の指導が始まった今、会員になって一緒に勉強しませんか？詳しくは学会ウェブサイト(<https://www.e-jes.org/>)をご覧ください。有益な情報がたくさん掲載されていますのでぜひ一度ご覧ください。

会員登録の確認と学会費納入のお願い

令和5年1月末日までに下記振込先まで学会年会費をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。
東北会員は4,000円、全国会員は6,000円となっております。現時点での会員登録状況は、封筒の宛名シールの下部に「全国会員」、「東北会員」という記載がありますので、ご確認いただければと思います。

勤務先、現住所、メールアドレスを変更された場合は速やかに事務局までご連絡ください。

青森県英語教育学会通信 (ASELE Newsletter) 第32号
2022年12月16日発行

発行者 青森県英語教育学会 (ASELE)
代表者 丹藤永也
発行所 〒036-8560 弘前市文京町1 弘前大学教育学部英語教育講座 佐藤剛研究室
青森県英語教育学会 (東北英語教育学会青森支部) 事務局ニューズレター担当
電話&FAX: 0172-39-3448 E-mail: telesamori@gmail.com
学会費振込先 青森銀行富田支店 普通預金 口座番号 1009612 名義 青森県英語教育学会 事務局 佐藤剛

英語指導の **Tips**

どうやって作る？単語の練習用ワークシート

—ただの作業、ただの手首の練習にしないために—

ニューズレターでは、授業で使えるちょっとしたテクニックをご紹介します。第1回目の今回は、単語の練習に使えるワークシートの作り方をご紹介します。

みなさんが指導されている生徒さんたちは、単語の練習は好きでしょうか？僕の経験上、単語練習をはりきってやる生徒はほとんどいなかったと思います。先日、英語科の学生が授業前に、英検1級の単語帳を使ってお互いクイズを出し合って、「よっしゃ！できた！」とか「しまった！まちがえた！」と一喜一憂しているのを見て、これでこそ英語科の学生！素晴らしいな！と思う反面、こういう学習者はかなりレアだろうなと感じました。単語の勉強が敬遠されがちな理由のひとつとして、スペルを覚えるには、とにかく覚えるまで何度でも書くしかないという思いが教員だけでなく、生徒にもあることが挙げられるのではないのでしょうか。言い換えれば、「コミュニケーション=楽しい活動」であるのに対して、単語の練習は「地味な反復=苦行」と見なされているように感じます。両者をバランスよく取り入れるために、一般的には敬遠されがちな基礎練習に工夫を加え、生徒たちが前向きに取り組めるようにすることが、指導者の役割なのではないのでしょうか。

単語の練習をする（生徒にさせる）際、一般的には以下のような形になっていることが多いと思います。一番左の列に単語のスペル、その次の列に単語の意味、そこから5回スペルを練習させるものです。僕も教員になりたての頃は、これ以外の形式は思いつきませんでした。

単語練習プリント Unit 5 Universal Design

単語を5回ずつ書いて練習しよう！

	単語	意味	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
1	Universal design	ユニバーサルデザイン					
2	product	製品, 生産物					
3	easily	安全に					

僕が、中学生を指導する時に使っていたプリントは以下のようなものです。

単語練習プリント Unit 5-1 Universal Design

単語を5回ずつ書いて練習しよう！

5回で覚えられないものはノート等を使って書けるようになるまで練習しよう！

	意味	5回目	4回目	3回目	2回目	1回目	単語
1	ユニバーサルデザイン						Universal design
2	製品, 生産物						product
3	安全に						easily
4	簡単に, 容易に						safely

使い方としては

①まずは、プリントを見ながら、単語の意味とスペルを覚える。じっくり時間をとって「よし、書ける」と思ったら、下の写真のように、スペルが見えないようにプリントを折って、1回目の列に単語を書いてみる。

②プリントを開いて、正しく書けたかどうか、一番右の列のスペルと自分が書いたものを比べて、まるつけをする。自信を持ってすべての単語を書けなかった場合はもう一度、プリントを見ながら、単語の意味とスペルを覚える。特に、1回目で書けなかったものを中心に学習する。



③今度こそ覚えたなと思ったら、下の写真のように、解答と1回目に書いたものが見えないように、1回目の練習と2回目の練習のところでプリントを折って、単語を書いてみる。

2種類の単語練習は何が違うのでしょうか？まずは、1つ目のワークシートの場合、練習をする際にスペルがどうしても目に入ってしまう。これでは、「覚える」というよりは「書き写している」に近くなってしまいます。本来は単語のスペルを覚えることが目的であるはずなのに、「プリントを早く埋めよう」という学習者の意識を助長してしまう可能性も

あります。一方、2つ目のものであれば、プリントを折ることで、単語を書く際に、そのスペルが目に入ることはありません。単語を書く際に、生徒は「あれ～何だったっけ？」「easily だっけ？それとも easily だっけ？」とより深い認知活動を要求されます。

次に、1つ目のワークシートでは、すべて埋まったとしても、本当に単語が書けるようになったかは不明です。学習のゴールは単語のスペルを覚えることで、プリントを埋めることではありません。生徒はプリントを埋めた段階で課題を終えた気になってしまいます。この「覚えたつもり」「できるようになったつもり」が、英語の学習では非常に厄介です。結果、せっかく課題をやっても、テストなどで単語が書けず、「ちゃんとやったのにテストがダメだった」や「このプリントをがんばっても意味がない」という事態につながりかねません。2つ目のものであれば、練習のたびに、自分がどれだけ書けるようになったのかが一目瞭然です。書けるようになった単語とそうでないものが明確なので、メリハリをつけた学習が可能になります。

このプリントは生徒たちに非常に人気で、漢字練習や社会の用語の暗記などに応用して使う生徒がでてくらい有用感を感じてくれていたワークシートです。ぜひ一度授業などでご活用いただければ幸いです。